



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会
2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504 Fax: (310) 323-6737

12月号会報

2012年(平成24年) 12月 1日(土)

NO. 136

倫理研究所USA出張で感動したこと

専任講師 鶴川文字

私は東京から電車で約一時間、そして車で二十分という大変な田舎に暮らして純粋倫理を三十七年学んでまいりました。そんな田舎で暮らしている私に今年八月にアメリカのロスアンゼルス出張のお話がありましたとき、一番びっくりしたのは当の本人の私です。

でも思い起こせば長い間描き続けた夢が実現した瞬間でもありました。若い頃から、色々な機会に研修や講師から伺ったアドバイス等をそのまま実践すると思ってもかけない素晴らしい展開に「本当に倫理の学びって素晴らしい。親の実践でこんなに子どもが変わっていくんだ。この事実を日本中の人に世界の人に知らせたいな。」と、ずーっと思っております。

十一月二日からの四泊五日の出張で一番感じた事は、住んでいる国が違っても純粋倫理を学び実践している方々の雰囲気、目の輝きは同じということでした。アメリカに何

十年と住んでおられる皆様は何を学ぼうかという選択は多岐に分かれていたと思います。その中、何十年も倫理を学び実践しておられるお姿に尊敬の念を抱いて帰国しました。

特に出張する前になかなか若い人が参加してくれないとお話も伺っておりましたが、開催してくださった子育てセミナーには三歳の男の子を育てていたり、五歳、四歳の年子を育てている現在子育て中の若い母親を誘ってくださいました。『親も子もよくなる上手なほめ方・叱り方』

の話では質問が集中して「私は娘を朝起こすときから叱っています。」と話されたお母さんに「あなたが一番嫌いと思っている家事を今日からいそいそやってみたら？」と回答すると「娘のために今日から苦手な料理を楽しくします。」と決意発表までしてくれました。

川田会長様ご夫妻、門園さん、グレースさん、滝川さん、梅本さん、色々とお世話になりました。九月に長野に

出張の際に、長い間しきなみ短歌を学び講師をされていた方の娘さんの伊澤さんが、ロスの空港まで送ってください。チケットの手配をこまごまとしてくださいました。

出発前、海外出張に関して「分からないところが分かりません。」と答えていた私でしたが、倫理研究所USAの総会、研修、セミナーの講師という大役を務める事が出来ましたこと、皆様方のお骨折りのお陰様であります。有難うございました。

鶴川文字

専任講師

倫理研究所 専任講師
茨城県土浦市教育委員会勤務
児童館館長

会員総会

十一月四日、午前八時半より南カリフォルニア倫理の会の会員総会が開かれました。

まず、川田会長より発表があり二〇一二年度の活動を報告されました。

モーニングミクサー、日本の講師による倫理セミナー、純粋倫理勉強会、ビジネスセミナー、月例役員会、おはよ

うロスアンゼルス、しきなみ短歌会、秋津書道会(倫理オフィス、オレンジ郡)、倫理コンピューター教室、男性料理教室、日本の会員との交流、子供短歌コンクールの活動を報告。又、今年は倫理ビジネスネットワークを立ち上げ飯田さんをチーフに任命されました。

次に前田グレース経理部長からの二〇一二年度の収支決算書の報告。そして川田会長よりの二〇一三年度南カリフォルニア倫理の会の抱負を語っていただきました。

朝の集いの充実化と活性化、活動を通して現地の日系コミュニティに貢献する、我々の活動を広報を積極的にする、組織を変更して即座に活動できるオープンな組織に構築する、そして会員獲得のため構想を語っていただきました。

つづいて前田グレース経理部長からの二〇一三年の収支予算表の発表があり、最後に鶴川文字生涯局専任講師の挨拶でおわりました。

(出席者一九名)

(柳川往代記)

会員研修会

十一月三日（土）午前十時、日本より鶴川文字専任講師をお迎えし開催。前日二日に着任、長旅のおつかれも見せず元氣澁刺で始まりました。

始めに『葉』の序の文章の解説から入り、序は著者、丸山敏雄先生が『葉』を世に発行する意義が書かれているので私達も序を良く理解する事が大切である。

そして象形文字の「脳」という字の成り立ちの説明があり脳の右上の「ツ」この三つは情報源であり、「ツ」のへは環境、へは直感、へは親子孫、メは「ツ」の3点を頭の中でまぜ、脳に行き渡させる、「口」は容れ物である。これが脳という字の意味である。

だから【思い】↓合体↑【実行】【思っていること（例・明るい挨拶をする）も、実行しなければ空ごとである。そして実践実行は親（自分）を通してその実践の精神を伝えなければいけない（子供は親の良し悪しいずれも伝わっていく）。

だから明朗、愛和、喜働の実践が重要である。そして日本の数多の講演会、子育てセミナーの講師を勉められ、講話、指導体験から会員の数々の感動な実践体験を話され、私達も胸熱く涙々で聞き入りました。

最後に「男」という字は田で働く、女と云う字の真中の空間は子宮を意味する。女性は思いやりのある豊かな人である様に努力しましょうと力強い講義が終りました。その後昼食会はピザを囲み和やかに楽しく過しました。（出席十二名）
（門園美枝子記）

子育てセミナー

十一月四日（日）午後三時から四時、鶴川文字専任講師を迎えてオフィスにおいて『親も子もよくなる上手なほめ方・叱り方』と題してセミナーが行われました。教育会館児童課に勤めておられる先生は経験が豊富でいろんな例を挙げて説明してくださいました。

子供が親から最も欲しいものは安心、安全で、親はふんわり（柔軟性がある）していること、

潤いがあることが必要。

幼児期には大いに抱きしめ、やさしい言葉かけで安定が得られる。常に子供が何を望んでいるかを知り自分の欲求不満をぶつけるのでなく、しっかりとチャンスをつまんで子供に視線をあわせて叱ることが大事。

親も心得が必要なものは

1. 子供へ大人の状況を伝える
2. 食事のマナー
3. 後始末
4. 長幼の序

これらは素直な子供達には受け入れやすく、しつけとしてはとても大事で子供は言葉、行動とも認めてもらえる人のところで力を発揮することができる。

他人は結果が見えるところだけではめるが、親は親だから知るそれまでの過程、努力を励ますと今後の可能性が大いに伸び、子供が安心を得る。「そうね」の言葉も大いに使ってほしい。

最後に夫婦のことになります。最後に夫婦の心が離れていると、子供の領域（自由の巾）が広すぎて不安定となるので、夫婦は仲良く努力しながらプラスの言葉かけでの生活で、親も子も育

つていきましようとは結ばれませんでした。

質疑応答の時間には非会員の若いお母さん方が活発に質問されて有意義な時間となりました。（出席者 二十一名）
（氏家正子記）



実践報告

四班 前田グレース
雨の日にコストコに行きました。レジの列で私の後ろの人が重そうな箱を手で持っていたので先に行かせてあげるとも喜ばれました。建物を出ると雨が止んでいたため傘をカートに入れて車まで行きトランクに買物の品を入れて傘は忘れてしまいました。その日は混んでいて駐車場から通りに出るまで車がなかなか進みませんでした。誰かが私の車の窓をトントンと叩きます。見ると私が出た後に車をつけた人が「傘をわすれたんじゃないありませんか」と手渡ししてくれたんです。いい事をするといい事が返ってくるという体験をしました。

倫理セミナー

十一月四日（日）午前十時から十一時半まで、鶴川文字専任講師により「仲良く楽しく暮らしましょう」のテーマで行なわれました。

人は楽しく暮らすことは、とにかく夫婦が仲良く暮らすことが大切ですが、やはり性格の違う者同士ですから沢山の物事が生み出されます。又どの家庭にもよくある嫁と姑の問題でも人はお金とか時間で解決しようと思いません。

倫理では先づ血の流れを変え、そのいい血を先祖・親・子・孫に至るまでふくらませていくのが倫理運動なのです。

又子供の能力・才能・環境も夫婦仲よくすることで生かされます。二人の思う事、行い事が一致する知行一致、言行一致が大切である。そして親子が仲よくするには、子供をほめて育てる、又ほめ言葉を勉強する事も大事で、親を通して倫理を説いていく。それに子供の口ぐせを直すことも大切で、たとえば、「しようがない」とか「どうせ」

「なんか」「なんで」と言うようなマイナスの言葉を明るく変えていく。子供は雰囲気で直していきます。そうしたこと

親は子供の存在で親にして貰っています。お母さんの、

ありがたい顔 不足の顔



対人関係にしましてもいろんな苦難もあります。何事にも大自然の力を借り素直に感謝する倫理者になり、自分が「ハイ！」と云うことにより相手が変わっていき明るい雰囲気になってきます。

明るくなるためには①明るい言葉 ②明るい態度 ③明るい雰囲気が大切です。悲しみ、妬む、嫌う、嫌がる、こうしたことは全部自分のわがままから来ています。明るくしていく努力をするうちに明るい事柄が起こってくるのです、と実に明るく楽しくお話しされました。

鶴川講師はこうした子育ての問題に取り組まれておられますが、このようなセミナーをするのにただ倫理研究所の講師だけ

では一般社会に通用しませんので、五十歳になられて中央大学法学部へ入学し、三年間勉強してその資格を取得されました。丁度、水戸光圀がいざという時に葵の印籠を出されたように、国家の資格を持つことによりどのグループからも信用され、話の重要性も語れます、と云われてましたが、その勤勉さと目の付け所の高さにただただ頭が下がりました。

そして今回は初めてのアメリカ旅行ですと云われ、三日の会員研修にはコシノジュンコのスーツを着用され、四日には和服で出席されました。亡くなられたお母様の着物だと云われてましたが紫地のすばらしいお召し物でした。小柄な方ですが背筋をシャンとのばしお辞儀の美しい事。我々も見習わせて頂きました。とにかくお話の内容もさることながら、先生のお人柄のすばらしさに一同感銘を受け、次回もぜひアメリカに来て頂き度いものと願っております。

先生、本当にありがとうございました。（出席者 三十三名）

（長谷川松子記）

懇親会

十一月四日（日）正午より、鶴川文字専任講師をお迎えして懇親会を開きました。チラシすしをメインとし、会員のおの手料理を持ち寄り、テーブルは花園のようでした。橋勝雄普及部長の乾杯で食事がたのしく始まりました。

初めてロスにお越しくくださった鶴川文字専任講師のご希望で参加者全員が自己紹介をする中、今の思い、気持ちを正直に述べるとそれぞれの立場で、速やかにご指導くださり、早速実践することを約束する会員もいました。

美味しいデザートで幸せな気持ちになり和やかな雰囲気のうちに時間が過ぎました。

最後に川田会長より鶴川文字専任講師にお礼の粗品を贈呈し、又のお越しを切に願いなから閉会となりました。

（出席者三十二名）
（梅本和子記）

おめでとうございます

『しきなみ』十一月号

- 入選 門園美枝子 群螢集（東京）
- 入選 杉野和子 飛雲集（西東京・海外）
- 入選 大川敏子 青泉集（西東京・海外）

『秋津書道』十一月号（競書）

- 入選 梅本豊造 高等部（東京）
- 々 堀井幸江 々 々
- 五席 咲田静子 一般部（東京東部）行書
- 入選 前田グレース 々 々
- 々 草野律子 々 々
- 九席 竹内康子 々（東京）楷書
- 入選 大竹信雄 々 楷書
- 一席 咲田静子 々 調和体

奥本洋子さん うずたま集に昇格

奥本洋子さんがしきなみ短歌会の、白光集からうずたま集に昇格されました。おめでとうございませう。

奥本洋子さんは、一九八四年、しきなみ短歌会南カリフォルニア支苑が発足して以来のしきなみ会員です。二八年間短歌を続けて来られました。

文化部長として、しきなみ短歌会の発展に尽力されてきました。白光集の時に病気になるれましたがリハビリに励まれ、短歌を生活の一部として、毎月投稿されました。まだまだ日常の

行動範囲が限られる中で、四季折々の庭の自然を詠み、家族に感謝の短歌を詠まれました。継続は力なり。奥本洋子さんは、しきなみ会員のお手本です。これからもお元気で、ご活躍下さい。

図書の本

在庫本のセールをしています。最大七割引きです。倫理の本は読めば心を打つものばかりです。このチャンスに是非お買い求め頂いて、倫理の勉強に、普及に、贈り物にお役立て下さい。係りの梅本和子さんからお求め下さい。

ガレージセルの日、変更

雨で中止となった十一月のガレージセルは十二月一日（土）二日（日）に変更になりましたので、ご協力下さい。

大掃除、忘年会

十二月十六日（日）に行います。

しきなみ短歌

拾ったり捨てたりしては推敲す我が意に適う短歌の言葉 ホン史子
障害持つ夫の座りぬる車椅子遠めにくじら愛でて動かず 松永典子

我が子らと同じ時代を生きたるも懸命に働く君の境遇 草野律子

テレビ見ておいしい食事作らんと夫の食欲いまだ戻らず 摺木洋子

彼岸過ぎ暑さ寒さを繰り返しゆつくり秋は深まりて行く 松元依子

エレベーターまばたきする間に六十階ロックフェラーの屋上に立つ 大川敏子

夏の間は数ある湖（うみ）の魚つり冬スキ―場と変わるマンモス 滝川歌子

日暮れどき赤々照らす夕焼けは絵を見る如き西空明かし 奥本洋子

ゆるやかに頭上をすぎゆく飛行船ま昼の空に影ひきながら 杉野和子

百歳を迎えてもまだ現役で名画を作りし名監督（進藤兼人） 長谷川松子

しその葉に千切り大根包むときふたつは野菜のあっぱれ王者 塩出笑子

テレビから今なき夫にそっくりな人が現われおどろき見入る 橘高比呂美

敵地での声援受けダルビッシュ燃える闘志を一球に込める 伊澤潤子

退院後医者への許可得て久々に湯船につかる妻のほほえむ 梅本豊造

歩行器にさよならをして杖をつく気分爽やか床打つ音の 梅本和子

いつまでも夏をとどめる西明かり初秋の月もとまどいいるらん 門園美枝子

秋なれば黄色が一番映ゆる色稲穂・柿の 伊勢田豊

実・せいたか泡立ち草 伊勢田豊
ふつふつと湧き出づる夢今まさに器を満たす水のごとくに 矢口裕司